

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 豊田大林教室

保護者等数(児童数) 30人 回収数 30割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30				広すぎるくらいだと思います	仕切りや家具などを利用してスペースを区切る
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	29			1	適切だと思います	専門の先生を多く採用
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20			10	適切だと思います	トイレなど手すりの設置
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	29	1			モニタリングで希望などを反映したものを作っています	しっかり保護者様に聞き取りを行い、日頃の送迎時などもお話しさせて頂いています。他のスタッフとも話し合いながらサービス計画を作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	28	2			いろいろなプログラムでいろいろな経験ができて嬉しい	様々のスタッフで月のプログラムを作り上げています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	1	5	17	交流は学校がしてくれているのでなくて良いです。	今後検討していく
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29	1			契約時にお話しがありました。	分かりやすく説明できるように準備する
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	27	3			連絡ノート、送迎時に出来事を教えて頂き、活動の様子は写真で確認できる	連絡帳や公式LINEをもっと活用
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	2			いつも丁寧な面談をして頂いています。	保護者会なども今後検討 参観日を実施
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	5	9	12	同じ悩みをもつ親同士で少し話せたらと思うことがあります。	今後検討していく
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25			5	その時は神速に適切に対応してくれると思う。	LINEやメールなどですぐに周知し、その日中に解決できるよう取り組む
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	1			写真とソラプロの更新を毎回楽しみにしています。	公式LINEと連絡帳システムを活用
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23			7	送っていただく写真により活動内容や様子が良く分かり大変満足しています。	公式LINEを活用
14 個人情報に十分注意しているか	27			3	契約時に説明がありました	鍵付き書庫での保管、鍵の保管を適切に	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	23	1		6	防犯マニュアルについて詳しく知りたい	教室の分かりやすい場所に提示
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	2		14	どんな訓練をしているか知りたい	1年に2回避難訓練を実施 職員会議などでも話し合い
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	27	2	1		いつも利用日を心待ちにしております。	教室の環境を整え楽しめる雰囲気作り 中庭の遊具を増加
	18 事業所の支援に満足しているか	29	1			退所時間をもう少し延長して頂けると、なお嬉しいです	満足して頂けるようプログラム内容をブラッシュアップしていく

428 22 15 75

79%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 豊田大林教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	1	人数によってパーテーションなどを利用してうまく調整できている	パーテーションを増やす倒れたり折れたりするので強度を持たせたものを作る
	2	職員の配置数は適切である	10	3	状況や活動にあわせて職員を配置している	専門性のあるスタッフを今後も採用していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	3	段差もなく広々と設置され、トイレ等も広めになっている	手すりなども今後検討
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	2	毎日振り返りを行うことで次の時の活動がスムーズにできたり、自信につながっている	振り返りシートを基に職員会議を行う
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13		アンケート実施することで意見を聞けたり改善することでより良い支援につながっている	今後ゲーグルフォームを使いアンケートも検討している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	2	評価ができることで更に改善や目標を持つことができる	ホームページに掲載しています
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11		評価をもらい改善につなげている	本部から訪問時にいろいろとご指導を頂く
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	14		事業所内の研修だけでなく、外部の研修の機会も確保している	各自も研修情報を取得してもらい、積極的に行う。そのためにも人員をしっかり確保する
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13		できることが増えたり等が見られるため、良いプログラムが実施できていると思う	保護者様の意見を踏まえ、職員会議で検討事例会議を必ず行う
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	3	個別支援計画書をスタッフがいつでも確認できるようにしている	今後はシステムが変わり誰でも確認がすぐ出来るようになる
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	1	保護者様のニーズや利用者様の状況をふまえ、活動プログラムに反映している	社員が主に中心になって全員で作るようにする
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	1	毎月季節のイベントなども取り入れて様々な変化があって良いと思う	季節に沿ったプログラム内容を心がけ、ネットや本などから情報を取得し、話し合いながらすすめる
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	3	休日は外出の活動を積極的に取り入れて子ども達の経験値を増やすことをしている	平日は全員取り組める内容を、休日はイベントを盛り込み、必ず支援内容に沿ったプログラムを作る
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12	1	子どもの状況に応じて指先や運動などその子にあった活動を取り入れている	お子様の様子を常に観察し、反映できるように記録していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	1	集団活動を中心としながら、個別での活動を適宜組み込んでいる	朝礼でプログラム内容を確認し、時間があれば模擬を行う
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	2	朝礼を行い、確認をしている。パートスタッフなど、時差出勤するスタッフにも都度共有している	その日の様子を必ずLINEにUPLし、全員が共有
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	1	業務日報にその日のヒヤリハットや支援内容、引き継ぎ事項を記録している	今後システムが変わるので全てを一括で共有出来る事が出来るようになる
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	13		業務日報に毎日気付いた事を記入し全員が目を通せるようにしている	今後変わるシステムが、漏れのないようにチェックしてくれるようになる
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	11	2	プログラムの中に必ず入れるようにしている	ガイドラインの内容が組み込まれた運営指針なのでスタッフが見える場所に大きく提示	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	3	児発管が参加している	児発管、児発管のOJT、管理者など幅広く出席できるようにする	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	14		学校保護者児発管等の会議に出席したり、学校と送迎等の連絡をすることで、スムーズにできている	送迎時に学校側とコミュニケーションをしっかりと取り学校との懇談会なども今後検討していく	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	3	現在該当児童の受け入れはなし	今後受け入れの検討
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11	2	相談員さんを通じて共有している	関係機関との連携を深めるために研修等に参加していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	4	まだその機会がない	お子様の情報を管理し、いつでも開示、提供できるように整理しておく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	1	研修の案内を頂くと自主的に研修へ参加申込を取り組んでいる	メールの案内以外からも研修の情報を探す
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	8	1日教室へ通う費等は児童館など交流の場に出かけるようにしている	お出かけなどどんどん行っていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	7	参加している	情報を共有して積極的に参加できるよう、スタッフも増員していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12		連絡ノートにてお知らせしたり、送迎時にお伝えする。電話などでも都度お知らせしている	連絡帳や公式LINEでいつでも連絡できる体制作り
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	5	保護者参観日を設けている	参観日を長期連休に必ず行う
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12		質問等された場合答えられるように勉強し、細かい部分は担当者に依頼している	だれでも回答出来るようにスタッフ研修を行っていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13		児発管を交えて相談を受けたり他職員と連携をとって支援できる環境にしている	いつでも相談できるよう、保護者様とコミュニケーションを図る機会を作る座談会なども検討中
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	8	参観日の開催を定期的に行っている	今後も長期連休を使って行う
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13		苦情が入った場合は、管理者、児発管をはじめとし、迅速に適切に対応している	苦情があった際は必ず全員のSNSで事実確認を行いその日中に対応する事を徹底している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	2	公式LINEを活用し随時情報発信をしている	今後ホームページなども力を入れていく
	35	個人情報に十分注意している	14		電話の受け答え等にも情報が漏れないよう十分に注意している	鍵付き書庫、鍵の管理をさらに徹底仕事の持ち出しは絶対禁止
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13		その子どもや保護者に合った方法で行っている	スタッフ間でもしっかり共有
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	4	今後検討	アンケート次第で検討していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11	2	教室に掲示し、スタッフ、保護者に周知している	掲示をもっと分かりやすくする
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	1	6ヶ月に一度は避難訓練を行っている	消防署の方にも来てもらうことを検討
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	1	研修を通して適切な対応できるようにしている	月一回の職員会議に少しずつ盛り込んでいく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	12	1	職員同士で確認し、保護者にも伝えやむを得ずの場合のみ行うことを記載している	基本的には身体拘束は行わないということを徹底
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	3	現在重いアレルギーをもったお子さんはいませんが、今後利用者にそのような子がいた場合適切に行う	分かりやすく提示
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	1	その都度ヒヤリハットを作成し職員で共有している	毎日のヒヤリハットの報告を必須で、月一回の職員会議はそれらをまとめ検討会議も行う